きょうのテーマ　今年の干支 ウサギの魅力

もふもふ♡愛らしいしぐさ

なるほど！取材ノート

今年の干支はウサギ！　その大きな耳と目。体はころんと丸く、毛並みはふわふわ。とってもかわいい！どうしてこんなに魅力的なんでしょう。ウサギに関わる仕事をしている人たちに、魅力を聞きました。

「おやつをあげると仲良くなれます」と話す倉田さん（右）とぼくちゃん＝愛知県名古屋市のうさぎのワンダーランドで

訪れたのは、愛知県名古屋市の大須にあるウサギカフェ「うさぎのワンダーランド」。店内には丸い小顔が特徴の「ネザーランド・ドワーフ」や、ビロードのような毛並みの「ミニレッキス」など、さまざまな種類の約40匹が飼育されています。エサをあげたり、なでたりして触れ合えます。

店長の倉田じゅんこさん（44）に抱かれて登場したのは、世界一大きいと言われる「フレミッシュ・ジャイアント」の「ぼくちゃん」。生後7カ月ですが、体重は5～6kgも。一般的なウサギは1～2kg程度です。「海外の品種で、他のウサギの5～6倍エサを食べます。その分、お店の中でお散歩してたくさん運動させてあげないといけません」と倉田さん。ぼくちゃんは得意げに鼻をひくひく。

倉田さんは子どものころから大のウサギ好き。「見た目のかわいさと、コロッと寝転がるときの動きがたまらない」そう。2008年にお店を始めました。「ウサギは警戒心が強くてストレスに弱いと思われがちですが、それぞれ個性があります。ずっと触られても平気なウサギもいるので、よく観察してお客さんに触れ合い方を伝えています」。生まれた子ウサギの販売や飼育相談も受けており、「電気コードをかじってしまうことがあるなど、飼育の難しさも伝えます」。

愛知県岡崎市のイラストレーター、しず華＊さん（34）は、カラフルでふんわりしたタッチのウサギの絵や雑貨を、イベントやインターネットで販売しています。注文を受けてイラストも描きます。ウサギとの出合いは、小学生の時に世話をしたこと。「何もかもが好きだけど、特にひくひくする鼻の動きが一番好き」と話します。今は卯年に合わせたイベントの準備に大忙し。「ウサギのジャンプみたいに飛躍の年にしたい」とほほ笑みました。

「ふんわりした雰囲気が出るように透明水彩の絵の具で描いています」と話す、しず華＊さん＝愛知県岡崎市で

アマミノクロウサギ　鹿児島の固有種

日本には野生のウサギもいます。アマミノクロウサギ＝知っとこ用語＝は世界自然遺産の奄美大島と徳之島（鹿児島県）だけに生息しています。ある地域に限って育つ生き物の種類「固有種」です。人間が毒蛇を減らそうと連れてきた、小型の肉食動物マングースに襲われたり、森林の伐採ですみかが無くなったりして数が減り、絶滅危惧種になっています。マングースを捕まえるなどの対策で、2003年の調査で最大約5千匹だったのが、昨年12月の環境省の発表では最大約3万9千匹まで増えました。

沖縄大客員教授で、日本の野生ウサギを研究する山田文雄さん（69）は「人間は希少なウサギを一時は絶滅の寸前まで追い込んでしまった。『かわいい』だけでなく、ウサギが生きる環境を守るという意識も広がってほしい」と話します。

夜に行動するアマミノクロウサギ＝鹿児島県の奄美大島で（勝廣光さん撮影）

知っとこ用語

アマミノクロウサギ　短い耳と黒っぽい体毛、鳥のような鳴き声が特徴です。斜面に2mほどの奥行きがある巣穴を掘ります。深夜から明け方に活動して草やドングリを食べ、昼間は穴の中で休んでいます。

まなぶらクイズ

□には何が入るでしょう？

〈1〉世界最大級のウサギの種類は□□□□□□・ジャイアント

〈2〉アマミノクロウサギは奄美大島と徳之島の□□種

答えはこの面の右下ですぅ

都道府県クリップ

B5判ノートに横向きに貼れるよ

124 富山県

大群で海岸に 春の味覚ホタルイカ

富山県の春の味覚、ホタルイカは体長4～6cmほどの小さなイカ。刺激を受けると青白く光ります。ホタルイカが大群で海岸近くまでやってくるのは富山湾だけ。約1.3kmの海面は「ホタルイカ群遊海面」として国の特別天然記念物です。

まなぶらクイズ〈1〉〈2〉の答え　固有